

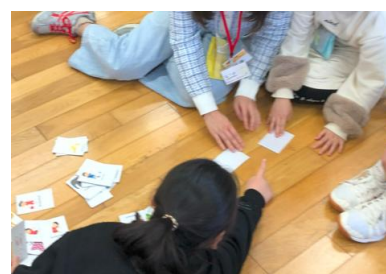
学校応援プロジェクト 2024 年度活動報告

多摩市立西落合小学校「放課後子ども教室」

今年度は5月から2月の間で全6回、「放課後子ども教室」へ参加をさせていただきました。放課後子ども教室では、習字や勉強といった文化的な活動や、ドッジボールやバスケットボールをはじめとするスポーツ、ラジコンなど、児童自身が興味を持つアクティビティに自由に参加することができます。グローバル教育プロジェクトでは、主に英語を使ったゲームやリズム遊びを準備し本番に臨みました。参加者のほとんどが低学年の児童でした。行ったアクティビティは次の通りです。

【英語カードゲーム】

「フルーツ」(banana/melon など) や「アニマル」(lion/dog など) など日常目にしたことがあるような英単語を選び、3種類のカードゲーム(カルタ・神経衰弱・ババ抜き)に応用しました。参加する児童と共にカードに書かれた英単語の読みを確認するとき、「これ分かるよ!」とうれしそうに読み方を教えてくれた児童もいれば、一生懸命声に出して練習している児童もいました。参加した児童全員が楽しむことができるよう、カードに用いるワードやイラストは簡単でかわいらしいものを選びました。ババ抜きでは、「勝ちたい」気持ちと「長く残ってゲームに参加したい」という気持ちが交錯していたようで、早く上がってしまい悲しそうにしている様子が愛おしくもありました。英単語を学びながら、参加者全員でゲームの行く末をドキドキハラハラして見届けました。



【ジェスチャーゲーム】

出題者がお題(running/penguin など)にある動作や名詞を体で表現し、回答者が英語で答えるゲームです。これはとても人気のゲームで、一人で元気よくジェスチャーを披露した児童や、友達や学生と一緒にジェスチャーをする児童もいました。どの児童もお題の特徴をよく捉えていて、回答側の児童はジェスチャーを披露されるや否や我先にと手を挙げて答えていました。中々答えに辿り着けない難しいお題に対しては、学生が「何か書いているのかな?」「バットを振っているね」などヒントを出してサポートをしました。ゲーム終了後には全員が正解できたお題カードの枚数を数えます。どの回でも一番多く獲得できた児童は大喜びし、他の児童は「次は一番多く正解する」と意気込んでいました。

【リズムゲーム】

「Head, Shoulders, Knees&Toes」「ABCの歌」「貨物列車」の3種類を行いました。児童のみなさんは、動画を流しているスクリーンにくぎ付けとなって一生懸命身体を動かしていました。途中でスピードを上げると「難しい!」「速すぎる!」と言いながらも何とか付いていこうと頑張っている姿がとても愛らしかったです。3つのリズムゲームの中でも一番の人気は「貨物列車」です。先頭車両同士でする英語のじゃんけんはすぐにできるようになりました。途中の「♪かも一つ れっしゃ シュツ シュツ シュツ〜♪」という歌詞もとても元気よく歌っていました。何よりも、2つの列車が1つにまとまる“最終回”で登場する“刺客”(私たちはラスボスと呼んでいます)に、みんな大喜びです。子ども教室の終了時刻が迫り、もうそろそろ終わりの時間だよと伝えると、必ず「あともう一回!」とアンコールをもらっていました。



西落合小学校「放課後子ども教室」の特徴は、“児童のみなさんが各アクティビティを自由に行き来できる”という点です。これはグローバル教育プロジェクトのこれまでの活動の中では見られなかったことで、興味を惹く企画がより求められたように感じます。放課後子ども教室に参加をさせていただいた当初は、児童のみなさんが英語活動に来てくれるのか心配に思うことがありましたが、私たちの名前や顔を覚えてくれるほど参加してくれる子や、お友達と来てくれた子など、様々なみなさんと英語で遊ぶことができました。何よりも活気にあふれていて、参加をするたびに私たち学生は元気とパワーを貰っていました。

これからも今年度得た気づきや学びを基に、さらに新しいアクティビティに挑戦したいと思います。

西落合小学校「放課後子ども教室」のみなさん、楽しい時間を本当にありがとうございました。また一緒に英語で遊びましょう!

